

分類	愛称（案）	理由	備考
サンライズパークに由来	サンライズロード	サンライズパークへの道で分かりやすい	
		日が昇る、新しい朝が始まる、歴史が始まる。	
		佐賀駅からサンライズパークへ続く道路なので、初めてサンライズパーク・SAGAアリーナを訪れる人でも分かりやすく、親しみが持てる名称だと思う。	
	サンライズパーク通り	SAGAサンライズパークまでの通りのため。誰でも分かりやすい良い。	
	SAGA SUNRISE PARK STREET	SAGAサンライズパークまでの道であることが分かる。朝日のように輝くとの願いを込めて。アルファベットで恰好良さを表した。	
	SAGAサンライズ道路	SAGAサンライズパークまでの道であることが分かる。朝日のように輝くとの願いを込めて。呼びやすい表現にした。	
	SAGAサンライズストリート	SAGAサンライズパーク周辺を市民に愛されるエリアとして浸透させることは、県・市の共通の想いであり、「サンライズ」を使用することで、県・市が共通のビジョンを描き、SAGA2024を成功に導く足掛かりを作れる愛称と期待できる。また、佐賀駅からSAGAサンライズパークまでを一つの発展エリアとして市民に意識してもらえると考える。さらに、アニメ制作会社サンライズとの親和性が生まれ、県が得意とする「サガプライズ！」の事業展開も期待できる。	
	SAGAサンライズ通り		
	SAGAサンライズロード		
	サンライズストリート		
	サンライズ通り		
	サンライズロード		
ライズアベニュー	県外の人に分かりやすく、覚えやすいネーミングであること。 ネーミングに「ライズ」が含まれると、サンライズパークを連想する。	<アベニューの意味> ストリートより大きな道。両側に建物が並び歩道部分に植栽がある。	
「勝利」がキーワード	SAGAビクトリーロード (ビクトリーロード)	スポーツにおける勝利というコンセプトでの提案。通りのコンセプトをスポーツに絞り、この通りを歩くことで勝者のメンタリティを得ることができる通りとして市民に認知してもらう。勝利のベンチ、勝利の神社、勝利のモニュメントなどの仕掛けを勝利というコンセプトで展開できる。なお、ビクトリーロードはラグビーW杯2019で日本代表のファンの応援歌としても話題となった。	「ストリート」「通り」などの表記はいずれでも構わない。
	ビクトリーロード	勝利への道、歩いてみたら！	
「国スポ」がキーワード	国スポ通り	2024国体から国スポに生まれ変わるため	
	国スポ道路	従来は国体と呼ばれていたが、2024年の佐賀大会から「国民スポーツ大会」に変更されたので、それを記念に！	
光輝くイメージ	佐賀サンシャイン通り	サンライズパークまでの佐賀が誇るシンボルロードであるため。佐賀がいつまでも輝く通りでありたいとの思い。	
	佐賀 輝きの道	サンライズ（日の出）パークに続く道のりということで日の出に照らされて光輝くイメージ。2024佐賀国体が開催されるにあたり選手が歩く道であると予想される為、結果に関わらず選手たちのこれまで乗り越えてきた道のりが輝けるものであると考えました。その努力を讃えて。佐賀市の出入口である佐賀駅に続く道ということで佐賀に来られた方と佐賀から旅立つ方のこれらが光り輝くものであってほしいという願いから。	
その他	ハレノヒ通り	サンライズパークへ向かう道で大会時や週末は徒歩や自転車の通行が増えるので、晴れた日が似合う道になって欲しい。	
	さがんロード	県内外の人からも佐賀の道路といたら「ここ」と言えるようになってもらいたいとの期待を込めてこの名称にしました。	
	三溝てくてく通り	県外・市外からの来訪者はもちろんのこと、地域の皆様、多くの方が歩き、活気がある道路になって欲しい為。	